

「世界一厳しい排ガス基準値」の変更は、歴史的経過踏まえて丁寧に 灰溶融炉廃止・環境保全基本協定書で討論

国崎クリーンセンター



た。こうした経過を経て、施設組合は、2008年5月14日に川西市の黒川・新滝地区自治会、能勢町の田尻下区、同野間出野区、5月16日に国崎自治会、広域「ごみ処理施設国崎地区対策委員会」と「環境保全基本協定書」を締結しました。

排出総量増える

ダイキシン類基準厳しく
協定書では、第1条の目的で「周辺地域住民が過去におけるごみ処理施設の事故にかんがみ、施設の稼働に危惧の念をもって、ごみ処理施設を踏まえ」とし、「生活、施設周辺環境の保全に常に配慮」

灰溶融炉は、ごみ焼却炉から出る焼却灰を高温で溶かしてガラス状の「スラグ」にする炉で、廃止すれば、①ダイオキシン類の総排出量が増え、基準値が守れなくなる、②フェニックスへの搬出、埋立量が約6倍増える、などの問題があります。

灰溶融炉廃止イコール国の排ガス基準が良いという安易な考えではなく、徹底して協定書の数値を守ることを追求・最善を図ること。CO2削減だけでなく省エネ・再エネ・脱炭素を進め、国の補助金等を確保

国崎クリーンセンター建設の歴史的経緯を大切に、見切り発車や説明責任、対応・対策を講じ、解決・改善されること。
灰溶融炉廃止イコール国の排ガス基準が良いという安易な考えではなく、徹底して協定書の数値を守ることを追求・最善を図ること。CO2削減だけでなく省エネ・再エネ・脱炭素を進め、国の補助金等を確保

1市3町の18議員で構成される猪名川上流広域ごみ処理施設組合の組合議員に11月になった私(黒田)は、2月3日に開かれた組合議会で、「環境保全基本協定書」に対する考え方について一般質問。2028(令和10)年に灰溶融炉を廃止することに

「排出基準を遵守」「施設稼働後における問題の速やかな解決に資すること」、基幹設備等の変更を行う時は、あらかじめ自治会との協議を行うとしています。

施設組合では、昨年8月の議員総会で「周辺住民の方にはご理解をいただいているが、ここ(センター)の設立のことで意見が出ていること、別件で反対をされている」という報告がされ、私(黒田)も注視してきました。

施設組合「住民合意で」
国崎クリーンセンター建設の歴史的経緯を大切に、見切り発車や説明責任、対応・対策を講じ、解決・改善されること。
灰溶融炉廃止イコール国の排ガス基準が良いという安易な考えではなく、徹底して協定書の数値を守ることを追求・最善を図ること。CO2削減だけでなく省エネ・再エネ・脱炭素を進め、国の補助金等を確保

国崎クリーンセンターの建設土地、当初は9~10haの広さで、と言っていたものが、33haに。住民裁判での土地鑑定士さんの見積もりでは、約2億円程度。組合側の見積りで約10億円超に。いろいろな経過を忘れてはなりません。

事故、反対運動経て協定

国崎クリーンセンターは、豊能郡美化センターのダイオキシン事故を受けて、2009年に建設されました。(経過は別表)

建設から約12年経過した昨年8月、施設組合では、「灰溶融炉の一般的な耐用年数である20年に達する2028(R10)年をもって灰溶融炉を廃止し、焼却灰などを直

灰溶融炉廃止によって、①総排
日の組合議会では、(1)「環境保全基本協定書」に対する施設組合の基本的な考え方、(2)協定書内「基幹設備等の変更協議」と住民合意の考え方、(3)廃棄物処理施設としての温室効果ガス削減について(エネルギー換算・都市ガス使用量)での削減率ではなく、一般廃棄物焼却炉として考えた時の効果(具体)、(4)協定書の「規制値」の扱い(5)灰溶

灰溶融炉2028年に廃止

建設を巡っては、1市3町の住民から、広域化・大規模処理場の問題、建設地の選定・土地購入・工事の在り方、環境への影響などに強い反対運動がおこり、幾度も裁判が行われまし

接大阪湾臨海環境整備センター(フェニックス)へ運搬し処分する」との方針を打ち出しました。

灰溶融炉廃止によって、①総排
日の組合議会では、(1)「環境保全基本協定書」に対する施設組合の基本的な考え方、(2)協定書内「基幹設備等の変更協議」と住民合意の考え方、(3)廃棄物処理施設としての温室効果ガス削減について(エネルギー換算・都市ガス使用量)での削減率ではなく、一般廃棄物焼却炉として考えた時の効果(具体)、(4)協定書の「規制値」の扱い(5)灰溶

年	経緯
1997(H9)年	1988年建設の豊能郡美化センター、高濃度ダイオキシン排出で休炉に
1998(H10)年	川西市、猪名川・豊能・能勢町、1市3町広域でごみ処理施設建設することを発表
1999(H11)年	建設予定地「国崎小路地区」を発表
2000(H12)年	猪名川上流広域ごみ処理施設組合設立
2000(H12)年	豊能郡美化センターの公害調停終了(汚染物処理・処分は2006年までに終わることを約束) 今に至る
2008(H20)年	周辺自治会等と「環境保全基本協定書」締結※
2009(H21)年	建設完了、4月から本格稼働 今に至る
2021(R3)年	8月、施設組合から「灰溶融炉廃止」案の説明

*組合は、「2028(R10)年に灰溶融炉を廃止する」としています。

